

県内景況、コロナ禍で冷え込み厳しい状況

不安と警戒感が広がり、抜本的な経済対策が必要

～景況 DI 値は、前年同月比 8.0 ポイント低下のマイナス 29.0～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 8月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比 47.3 ポイント低下のマイナス 36.8、前年同月比 31.6 ポイント低下のマイナス 31.6。非製造業では、前月比 15.8 ポイント低下のマイナス 5.3、前年同月比 36.9 ポイント低下のマイナス 21.1。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比 5.3 ポイント上昇のプラス 21.1、前年同月比 5.2 ポイント低下のプラス 15.8。非製造業では、DI 値前月比 5.3 ポイント低下のマイナス 5.3、前年同月比 10.5 ポイント低下のマイナス 15.8。

収益状況 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス 15.8、前年同月比 15.8 ポイント低下のマイナス 36.8。非製造業では、前月比同水準のマイナス 21.0、前年同月比 15.8 ポイント低下のマイナス 26.3。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス 10.5、前年同月比 5.2 ポイント低下のマイナス 26.3。非製造業では、前月比 5.2 ポイント低下のマイナス 26.3、前年同月比 10.5 ポイント低下のマイナス 36.8。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比同水準のプラスマイナス 0、前年同月比 10.6 ポイント低下のマイナス 15.8。非製造業では、前月比 5.2 ポイント低下のマイナス 5.2、前年同月比 10.5 ポイント低下のマイナス 26.3。

景況 製造業では、DI 値前月比 10.4 ポイント低下のマイナス 21.0、前年同月比 5.2 ポイント低下のマイナス 21.0。非製造業では、前月比同水準のマイナス 36.8、前年同月比 10.5 ポイント低下のマイナス 36.8。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比 5.2 ポイント低下のマイナス 28.9、前年同月比 8.0 ポイント低下のマイナス 29.0 となった。製造業の一般食料品、木材・木製品ではコロナ禍の影響に加え、原材料価格が値上がりしており、また金属製品関連では、半導体不足に加え、アジア圏でのコロナ感染拡大により部品供給不足が出ている。非製造業では、商店街の街区飲食店への時短営業要請で自粛傾向が高まっており来街者が減少している。旅館・観光関連では、各種割引キャンペーンの停止、隣県での緊急事態宣言の影響で疲弊している。県内景況は、コロナ禍により冷え込み、非常に厳しい状況が続いている。回復の兆しは見えず不安と警戒感が広がっており、抜本的な経済対策が必要といえる。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

8月の全国倒産は、件数449件で、2000年以降8月としては過去最少。負債総額は946億2,100万円（負債総額1,000万円以上）で、3カ月ぶりの前年同月比増加となった。不況型倒産の合計は352件で、2カ月連続で減少した。構成比は78.4%。

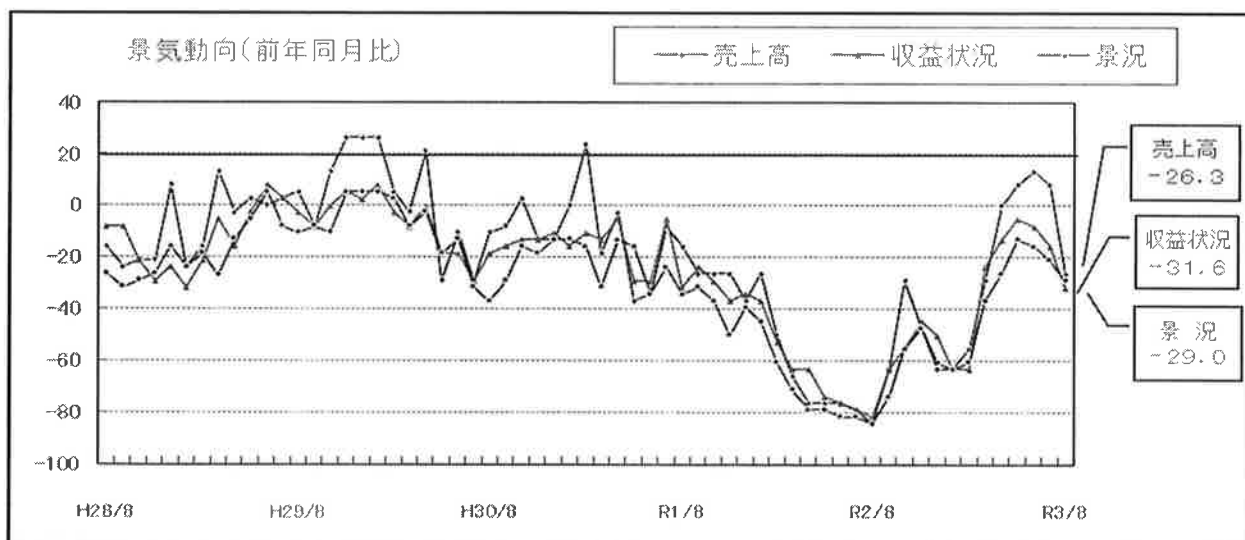
一方、8月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数0件（前月0件）、負債総額は0円（前月0円）で、負債額1,000万以上の法的手続きによる倒産が2カ月連続して発生しなかったのは、2019年12月から2020年1月にかけて以来、1年7カ月ぶりとなった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報7月分」）

鳥取県の7月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.43倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.15倍）で、前月より0.01ポイント低下した。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.31倍、米子所1.42倍、倉吉所1.51倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.31倍（季節調整値）で、前月より0.33ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比1.8%増加し、有効求人数は12.0%の増加となった。産業別に前年同月で比較すると、運輸業・郵便業（84.5%）、製造業（29.9%）、建設業（9.0%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比0.7%増加し、有効求職者数は0.7%減少した。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.29倍で、前年同月を0.05ポイント上回った。新規求人数は前年同月を6.3%下回った。



8月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	0.0%	36.8%	-36.8 -47.3	36.8%	42.1%	-5.3 -15.8	18.4%	39.5%	-21.1 -31.6
(2) 在庫数量	5.3%	10.5%	-5.2 -15.7	16.7%	8.3%	8.4 16.8	9.7%	9.7%	0.0 -3.2
(3) 販売価格	21.1%	0.0%	21.1 5.3	10.5%	15.8%	-5.3 -5.3	15.8%	7.9%	7.9 0.0
(4) 取引条件	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 0.0
(5) 収益状況	5.3%	21.1%	-15.8 0.0	15.8%	36.8%	-21.0 0.0	10.5%	28.9%	-18.4 0.0
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	5.3%	31.6%	-26.3 -5.2	2.6%	21.1%	-18.5 -15.8
(7) 設備操業度	0.0%	26.3%	-26.3 -31.6						
(8) 雇用人員	0.0%	0.0%	0.0 0.0	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	2.6%	5.3%	-2.7 -2.7
(9) 景 況	5.3%	26.3%	-21.0 -10.4	5.3%	42.1%	-36.8 0.0	5.3%	34.2%	-28.9 -5.2

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	47.4%	-31.6 -31.6	26.3%	47.4%	-21.1 -36.9	21.1%	47.4%	-26.3 -34.2
(2) 在庫数量	5.3%	21.1%	-15.8 -21.1	16.7%	8.3%	8.4 25.1	9.7%	16.1%	-6.4 -3.2
(3) 販売価格	21.1%	5.3%	15.8 -5.2	10.5%	26.3%	-15.8 -10.5	15.8%	15.8%	0.0 -7.9
(4) 取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 -15.7	0.0%	15.8%	-15.8 -10.6	2.6%	13.2%	-10.6 -13.2
(5) 収益状況	15.8%	52.6%	-36.8 -15.8	15.8%	42.1%	-26.3 -15.8	15.8%	47.4%	-31.6 -15.8
(6) 資金繰り	0.0%	26.3%	-26.3 -5.2	5.3%	42.1%	-36.8 -10.5	2.6%	34.2%	-31.6 -8.0
(7) 設備操業度	5.3%	36.8%	-31.5 -20.9						
(8) 雇用人員	0.0%	15.8%	-15.8 -10.6	0.0%	26.3%	-26.3 -10.5	0.0%	21.1%	-21.1 -10.5
(9) 景 況	21.1%	42.1%	-21.0 -5.2	15.8%	52.6%	-36.8 -10.5	18.4%	47.4%	-29.0 -8.0

* D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査 D I（上段）から前月調査 D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 観光土産品関連業者は、引き続き従業員の一時帰休を実施するなど、業況は厳しい。また原材料（小麦粉、鶏卵等）値上げ分を販売価格に転嫁できないため収益状況は厳しい。

醬 油⇒ 都市部での緊急事態宣言の延長、県内でのコロナ変異株によるクラスター発生により、人流が抑えられているため、飲食店や宿泊先に納める業務用商品が落ち込んだ状態が続いている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、フル稼働で製造を始めているが、コロナ禍前と比べ先の予定が見えない状況。座席シート縫製では、自動車用半導体不足により、国内では自動車の製造自体が減産となっているため売上高は減少傾向。

ニット製品⇒ コロナ禍により、有店舗販売の目途がつかない。衣料品消費全体が縮小するなかで通販やインターネット販売などで競争激化が進み、販売価格の低下が進行しており、国内メーカーは苦しい状況が続いている。

【家具装備品】

⇒ 売上高は、コロナ禍の影響もあり前月比で不変、前年同月比で減少。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で不変。合板の生産量も不変。製材品の引き合いは強いが供給にはまだ不足感がある。ウッドショックの影響により原木・製品ともに仕入値が上がっているため販売価格は前年比1.5～2倍に上昇している。プレカット加工の稼働率は、前月比不変、前年同月比55%増加。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 書道用紙は、この時期から発注のかかる書初め用紙の生産が始まり、少しずつ操業度が上昇してきている。その他の和紙については、コロナ禍の影響から脱却できていない状況。

【印 刷】

⇒ 新型コロナ第5波の影響で、イベント、会議、行事の中止が多数発生している。イベント、会議、行事など次に向けての動きが見通せず、業界全体に不安と警戒感が広がっている。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 8月の生コン出荷量は、前月比23%減少、前年同月比16%減少となり全体的に低調。コロナ禍の中で、民間投資意欲が下がりつつあり、公共投資も前年割れしている。全県で道路関連工事があるが出荷はこれからの状況。民間設備投資はマンションや製造工場、社会福祉施設などの工事はあるが、数量を押し上げるほどにない。各地区ともに大型事業

が少なく、需要が伸びないので厳しい。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、引き続き、仕事は徐々に戻ってきており、年内の仕事量を確保している先もあるが、鋼材の値上がりと、一部品種（特にコラム）によっては、極端な品薄が続いている。機械加工は、全体的に自動機・工作機械関連を中心に、仕事はほぼ戻ってきているが、鋼材の値上がりと品薄が不安要素となっている。また、半導体不足に加え、アジア圏でのコロナ感染拡大による部品供給不足を受けて、トヨタ減産の影響が懸念される。

鉄骨加工⇒ 各企業の山積み（受注量）に格差が生じており、山積みの少ない工場は低価格での受注を余儀なくされ収益に影響が出ている。また、柱となるコラム材の入荷には4カ月を要しており、年内建方を予定する事務所、店舗などの物件は2月以降の建方として対応せざるを得ない状況のため、受注残が1～3カ月の工場では年内の製作予定が立たなくなる状況。

金属熱処理⇒ 8月の受注は前年同月比で増加となったが、4～6月までの景気回復感は薄れつつあり、7月から景気の伸び悩み感がある。特には大口のエネルギー関係部品の受注が停止しているほか、自動車関係部品も半導体不足や中国、東南アジアのコロナ感染者の従業員出勤停止による部品供給の影響が出ていると聞いている。このような中でも建設機械関係は比較的好景気で生産量も増加している。

【電気機械器具】

⇒ 受注案件は増加傾向にあるが、部材調達の問題で結果的に売上は横ばい。人材不足はさらに深刻になっており、受注が増えても人材不足、さらに急に材料がストップする可能性が高い。海外調達の部材は先行き不透明。生産拠点も国内にシフトする企業も出てきているが人員不足の問題がある。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 検査キットなどコロナ対策用品は動いている。青果関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。スイカや葡萄、梨などが売上に貢献している。鮮魚関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。旅館、ホテルなどサービス業の回復兆候が見えない。

中部地区⇒ 売上高は前月比、前年同月比ともに減少。市場は購買意欲に乏しい。今後は、デジタルトランスフォーメーション（DX）商品の促進に力を入れていく。

西部地区⇒ 一部で新型コロナウイルス感染防止対策等から売上の回復は鈍い。デパートや飲食店を取引先とする一部事業所も同様な状況。また一部では輸入木材価格の高騰によるウッドショックの影響が見受けられる。

水産物⇒ 巻き網漁は月前半ハマチ・ワラサの水揚げがあったものの、盆前の台風から時化が続き、まとまった水揚げがなくなり水揚げ金額は2割以上減少した。紅ズワイガニ、底引き漁の休漁月であり夏枯れの時期であることに加え、長く続くコロナ禍により盆商戦に向かったの活気もなく、水揚げ・商流とも低調な月となった。

リサイクル原料⇒ 国内スクラップ市況は、前月に比べ、トン当たり千円値下がりしたが、国内電炉の夏季減産で需要が減少し下げ含みで推移した。古紙は前月と変わらない。非鉄金属は、銅、アルミ、ステンレスともに高値止まりとなった。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、新型コロナ感染者増加により、街区飲食店への時短営業要請が出され、飲食店舗が軒並み休業したことから来街者は大幅に減少し、飲食店以外の店舗の売上にも深刻な影響がみられた。宿泊客は各種キャンペーンが中止となり、一気に静かになった。天候不順などの複合的な要因も併せて厳しい状況には変わりはない。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、予定していた倉吉銀座商店街の街おこしイベントは全て中止を余儀なくされた。10月は、鳥取県中部地震発災から5年の節目であるが「福高祭」の開催も危ぶまれている。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、コロナ禍で延期されていた「土曜夜市」が8月28日に元町通り「パティオ広場」で開催された。規模縮小となったが、多くの家族連れの来街者で賑わった。

境港市の水産物小売は、度重なる緊急事態宣言の影響で、例年帰省客で賑わう盆期間中も来客数は伸びず、売上は低調で、仕入と人件費を考慮して休業する店舗が増えた。鳥取県・島根県は対象地域ではないものの、関西・山陽方面からの観光客が来場者の大きな割合を占める店舗では、度重なる緊急事態宣言とまん延防止等重点措置によって疲弊しきっている。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、入込数は増加傾向で推移していたものの、盆期間中、それ以降も雨による悪天候とコロナ禍の影響で、売上高は前年比5割減と大幅に落ち込んだ。

米子市のホテル・旅館では、海水浴など季節的要因により宿泊客が増加したことから、前月比で売上高は増加した。前年同月比では、GoToトラベルをはじめとする各種キャンペーンの停止や新型コロナ感染拡大により、売上高は減少、収益状況も厳しい。9月も大半が休館予定であり、限界が来ており、非常に厳しい経営状況となっている。

三朝温泉では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。隣県での緊急事態宣言の影響で、非常に厳しい夏となった。

羽合温泉では、売上高は前月比、前年同月比ともに増加となった。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売台数(軽自動車を含む)は1,865台で前月比13.1%減少、前年同月比3.8%増加。継続検査(車検)台数(軽自動車を含む)は13,393台で前月比9.9%減少、前年同月比28.5%増加。中古車(軽自動車を含む)は603台で前月比8.4%減少、前年同月比0.3%増加となった。

【建設業】

⇒ 7月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額101億円(前年同月比29%減)、件数194件(前年同月比0.5%増)で、年度累計(令和3年4月～7月)は、請負金額368億円(前年同月比21%減)、件数676件(同2%減)となった。設備投資では単月、3カ月平均ともに4カ月連続の前年比プラス。住宅建設も単月で下振れるも、全体の3か月平均は前年比プラスを維持。防災・減災工事などの土木工事を中心とした公共工事が堅調である一方、木材・鉄鋼など資材価格上昇による収益圧迫が続いている。

7月の鳥取県新設住宅着工戸数は182戸(持家150戸、貸家32戸)で、前月比47%減少、前年同月比31%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 8月の物流は、製造業で出荷調整もあり輸送量は概ね横ばいとなったほか、天候不順により農作物の出荷量も減少がみられた。季節商品で出荷量は増加したものの全体としては概ね横ばいが続いている。復路荷物の不足傾向は続いているが、荷物の情報量も増えてきており、空車運行は減ってきている。売上高は前月比不変、前年同月比増加。燃料価格は高値が続いており、収益状況は厳しい。

西部地区⇒ 県特産の二十世紀梨は例年より1週間早く出荷が始まった。春先の天候の影響で懸念された出荷数量も例年並みとなった。製造業、とりわけ自動車産業において東南アジアでの新型コロナ感染拡大に伴う部品供給不足により、工場での稼働停止が相次ぎ物流に与える影響は大きい。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・税金や社会保険の猶予の再延長や拡大、要件緩和。抜本的な経済対策が必要。【商店街】
- ・鳥取中部地震5年目節目の「福高祭」実施に向けて、行政等の助けを期待する。【商店街】
- ・旅館業の現況は危機的な状況にあり、各種補助金やキャンペーンの支援策をお願いしたい。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との 増減幅
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
売 上 高	製 造 業	-47.4	5.3	47.4	0.0	-10.5	-47.3	5.2	31.6	-26.3	-31.5	-5.3	10.5	-36.8	10.6
	非製造業	-5.2	5.3	0.0	0.0	-10.5	-68.4	5.3	26.3	0.0	-10.5	-5.2	10.5	-5.3	-0.1
	全 業 種	-26.3	5.3	23.7	0.0	-10.5	-57.9	5.3	29.0	-13.1	-21.1	-5.3	10.5	-21.1	5.2
在庫数量	製 造 業	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	-10.5	5.2	0.0	5.2	10.6	5.3	15.8	10.5	-5.2	5.3
	非製造業	-41.7	0.0	0.0	16.6	0.0	-16.6	8.3	0.0	8.3	0.0	16.7	-8.4	8.4	50.1
	全 業 種	-22.6	-6.5	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	3.2	9.7	3.2	16.1	3.2	0.0	22.6
販売価格	製 造 業	0.0	-5.2	-5.2	0.0	0.0	10.5	0.0	26.3	21.1	10.5	15.8	15.8	21.1	21.1
	非製造業	5.3	-26.3	0.0	0.0	10.6	-21.0	-15.8	-10.5	-10.5	10.5	-10.5	0.0	-5.3	-10.6
	全 業 種	2.6	-15.8	-2.6	0.0	5.3	-5.3	-7.9	7.9	5.3	10.6	2.6	7.9	7.9	5.3
取引条件	製 造 業	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.6	10.5	10.5	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0
	非製造業	-5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3
	全 業 種	-2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-2.6	0.0	2.7	-2.7	-5.3	-5.3	-2.6
収益状況	製 造 業	-31.6	-10.5	-15.8	-10.5	-5.2	-42.1	-10.6	10.5	-26.3	-16.8	-31.5	-15.8	-15.8	15.8
	非製造業	-21.0	-21.0	0.0	0.0	-5.3	-68.4	-10.5	0.0	-20.9	-42.1	-21.0	-21.0	-21.0	0.0
	全 業 種	-26.3	-15.8	-7.9	-5.2	-5.2	-55.3	-10.5	5.2	-23.7	-28.9	-26.3	-18.4	-18.4	7.9
資金繰り	製 造 業	-5.3	10.5	0.0	5.2	0.0	-21.1	-5.3	10.5	10.2	-10.5	0.0	-5.3	-10.5	-5.2
	非製造業	-26.3	-31.6	0.0	0.0	-15.8	-36.8	-31.5	-21.1	-15.8	-36.8	-26.3	-10.5	-26.3	0.0
	全 業 種	-15.8	-10.5	0.0	2.7	-7.9	-28.9	-18.5	-5.3	-5.3	-23.7	-13.1	-7.9	-18.5	-2.7
設備操業度	製 造 業	-15.8	10.6	-5.3	0.0	0.0	-42.1	-42.1	21.0	-5.3	-15.8	-5.3	5.3	-26.3	-10.5
雇用人員	製 造 業	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	5.3	10.5	5.2	-5.2	-5.3	0.0	0.0	0.0
	非製造業	-10.5	-10.5	-5.2	-5.3	-15.8	-15.8	-15.8	5.2	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	-5.2	5.3
	全 業 種	-5.3	-5.3	-2.7	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	7.9	-2.6	-7.9	-5.3	0.0	-2.7	2.6
景 況	製 造 業	-31.6	-26.3	-10.6	-15.8	-15.8	-42.1	-31.6	-10.5	-26.3	-10.6	-15.8	-10.6	-21.0	10.6
	非製造業	-15.8	-31.5	10.5	-10.5	-15.8	-57.9	-31.6	-26.3	-36.8	-47.3	-31.5	-36.8	-36.8	-21.0
	全 業 種	-23.6	-28.9	0.0	-13.2	-15.8	-50.0	-31.5	-18.4	-31.5	-28.9	-23.6	-23.7	-28.9	-5.3

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との 増減幅
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
売上高	製造業	-89.5	-78.9	-52.4	-42.1	-73.6	-73.7	-52.6	-15.8	-10.5	5.2	0.0	0.0	-31.6	57.9
	非製造業	-78.9	-47.4	-5.3	-52.7	-47.4	-52.6	-57.9	-42.1	10.5	10.6	26.3	15.8	-21.1	57.8
	全業種	-84.2	-63.2	-29.0	-47.4	-60.6	-63.2	-55.2	-29.0	0.0	7.9	13.2	7.9	-26.3	57.9
在庫数量	製造業	-10.6	-26.3	-26.3	0.0	-21.1	-15.8	-21.1	-15.8	10.6	10.5	10.5	5.3	-15.8	-5.2
	非製造業	-25.0	-16.6	0.0	-16.7	-8.3	-33.4	-33.4	-33.4	-8.3	-16.6	0.0	-16.7	8.4	33.4
	全業種	-16.1	-22.5	-16.1	-6.4	-16.1	-22.5	-25.8	-22.5	3.3	0.0	6.4	-3.2	-6.4	9.7
販売価格	製造業	-26.3	-21.0	-21.0	-21.0	-21.0	-15.8	-15.8	0.0	10.5	5.2	21.0	21.0	15.8	42.1
	非製造業	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-5.3	-5.3	-10.5	-26.3	-15.8	-15.8	-5.3	-5.3	-15.8	-10.5
	全業種	-15.8	-13.2	-10.6	-15.8	-13.2	-10.6	-13.2	-13.1	-2.6	-5.3	7.9	7.9	0.0	15.8
取引条件	製造業	-15.8	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	10.5	10.5	10.5	10.5	-5.2	10.6
	非製造業	-26.3	-26.3	-21.1	-5.2	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-15.8	10.5
	全業種	-21.1	-13.2	-13.2	-5.3	-10.5	-5.3	-13.2	-10.5	0.0	0.0	0.0	2.6	-10.6	10.5
収益状況	製造業	-78.9	-73.6	-63.2	-52.7	-57.9	-63.1	-52.6	-15.8	-15.8	-5.2	-10.5	-21.0	-36.8	42.1
	非製造業	-84.2	-52.7	-47.4	-36.8	-42.1	-63.1	-73.7	-31.5	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-26.3	57.9
	全業種	-81.6	-63.2	-55.3	-44.7	-50.0	-63.1	-63.2	-23.7	-13.1	-5.3	-7.9	-15.8	-31.6	50.0
資金繰り	製造業	-47.4	-31.6	-36.8	-21.1	-26.3	-31.6	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-21.1	-26.3	21.1
	非製造業	-68.4	-52.6	-36.9	-26.3	-42.1	-57.9	-57.9	-42.1	-10.5	-31.5	-36.8	-26.3	-36.8	31.6
	全業種	-57.9	-42.1	-36.8	-23.7	-34.2	-44.7	-47.4	-28.9	-13.1	-2.9	-26.3	-23.6	-31.6	26.3
設備操業度	製造業	-57.9	-42.1	-42.1	-52.6	-42.1	-52.6	-52.6	-21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-10.6	-31.5	26.4
雇用人員	製造業	-15.8	-26.3	-21.1	-15.8	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	-5.3	10.5	-10.5	-5.2	-15.8	0.0
	非製造業	-36.8	-26.3	-15.8	-26.3	-31.6	-31.6	-31.6	-21.0	-10.6	5.2	-10.5	-15.8	-26.3	10.5
	全業種	-26.3	-26.3	-18.4	-21.1	-23.7	-23.7	-21.1	-10.5	-7.9	-7.9	-10.6	-10.6	-21.1	5.2
景況	製造業	-84.2	-73.7	-63.2	-57.9	-73.7	-73.7	-52.6	-26.3	-21.0	-10.5	-5.2	-15.8	-21.0	63.2
	非製造業	-84.2	-73.7	-47.4	-36.8	-52.6	-52.6	-68.4	-47.4	-31.5	-15.8	-26.3	-26.3	-36.8	47.4
	全業種	-84.2	-73.7	-55.2	-47.4	-63.2	-63.2	-60.6	-36.8	-26.3	-13.1	-15.8	-21.0	-29.0	55.2

情報連絡員報告総括表(令和3年8月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1-1 業界の景気動向 (前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	2	0	0	0	1	1
	繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	2	1
	木材・木製品	0	4	0	0	3	1	2	2	0	0	4	0	0	4	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1
業	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	2	0	0	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	2	0	2	0	1	0
	一般機器	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
非製造業	輸送用機器																											
	その他																											
	19	0	12	7	1	16	2	4	15	0	0	19	0	1	14	4	0	17	2	0	14	5	0	19	0	1	13	5
	100%	0.0%	63.2%	36.8%	5.3%	84.2%	10.5%	21.1%	78.9%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	89.5%	10.5%	0.0%	73.7%	26.3%	0.0%	100.0%	0.0%	5.3%	68.4%	26.3%
	卸売業	1	4	1	1	5	0	1	5	0	0	6	0	0	4	2	0	5	1				0	6	0	0	4	2
業	小売業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	0	1
	商店街	0	0	4	1	2	1	0	2	0	2	2	0	1	3	0	0	4				0	2	2	2	0	0	4
	サービス業	4	0	1			1	3	1	0	5	0	2	2	1	3	1					1	4	0	1	3	1	
	建設業	0	0	1			0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0				0	1	0	0	1	0
	運輸業	2	0	0			0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0				0	2	0	0	0	2	0
その他	その他																											
	19	7	4	8	2	8	1	2	14	3	0	17	2	3	9	7	1	12	6				1	16	2	1	10	8
	100%	36.8%	21.1%	42.1%	16.7%	66.7%	8.3%	10.5%	73.7%	15.8%	0.0%	89.5%	10.5%	15.8%	47.4%	36.8%	5.3%	63.2%	31.6%				5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	52.6%	42.1%
	38	7	16	15	3	24	3	6	29	3	0	36	2	4	23	11	1	29	8	0	14	5	1	35	2	2	23	13
	100%	18.4%	42.1%	39.5%	9.7%	77.4%	9.7%	15.8%	76.3%	7.9%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	60.5%	28.9%	2.6%	76.3%	21.1%	0.0%	73.7%	26.3%	2.6%	92.1%	5.3%	5.3%	60.5%	34.2%

情報連絡員報告総括表(令和3年8月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－2 業界の景気動向 (前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製 造 業	食料品	0	0	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	1	1	
	繊維工業	0	1	2	1	1	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	2	1	0	2	1	
	木材・木製品	1	2	1	0	4	0	2	0	1	2	1	1	2	1	0	4	0	1	3	0	0	4	0	1	2	1	
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	
	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	1	0	
	一般機器	2	0	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	2	0	1	0	3	0	0	3	0	0	2	1	2	0	
	電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
輸送用機器																												
その他																												
19	3	7	9	1	14	4	4	14	1	1	16	2	3	6	10	0	14	5	1	11	7	0	16	3	4	7	8	
100%	15.8%	36.8%	47.4%	5.3%	73.7%	21.1%	21.1%	73.7%	5.3%	5.3%	84.2%	10.5%	15.8%	31.6%	52.6%	0.0%	73.7%	26.3%	5.3%	57.9%	36.8%	0.0%	84.2%	15.8%	21.1%	36.8%	42.1%	
非 製 造 業	卸売業	1	3	2	1	5	0	1	4	1	0	5	1	1	4	1	1	5	0				0	6	0	1	3	2
	小売業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0			0	1	0	0	0	1	
	商店街	0	1	3	1	2	1	0	2	2	0	2	0	1	3	0	0	4				0	1	3	0	0	4	
	サービス業	2	1	2			0	3	2	0	5	0	1	2	2	0	2	3				0	3	2	1	2	2	
	建設業	0	0	1			1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1	
	運輸業	2	0	0			0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	0	2				0	2	0	1	1	0	
	その他																											
	19	5	5	9	2	8	1	2	12	5	0	16	3	3	8	8	1	10	8				0	14	5	3	6	10
	100%	26.3%	26.3%	47.4%	16.7%	66.7%	8.3%	10.5%	63.2%	26.3%	0.0%	84.2%	15.8%	42.1%	42.1%	5.3%	52.6%	42.1%				0.0%	73.7%	26.3%	15.8%	31.6%	52.6%	
	38	8	12	18	3	22	5	6	26	6	1	32	5	6	14	18	1	24	13	1	11	7	0	30	8	7	13	18
100%	21.1%	31.6%	47.4%	9.7%	71.0%	16.1%	15.8%	68.4%	15.8%	2.6%	84.2%	13.2%	15.8%	36.8%	47.4%	2.6%	63.2%	34.2%	5.3%	57.9%	36.8%	0.0%	78.9%	21.1%	18.4%	34.2%	47.4%	